



EKŌ-Haus der Japanischen Kultur e.V.

社団法人 ドイツ「恵光」日本文化センター

ご挨拶

ドイツ「恵光」日本文化センター（以下恵光センター略称）の使命は、大まかに言えば、ドイツそしてヨーロッパに、仏教の教えに基づいた日本文化の紹介し、これを広めることによって、その根柢を支えている仏教の教えを人々に理解してもらうように努めることです。これによって、より多くの人々の安穏を、そして世界に平和を実現することも目指しています。

この考えは、恵光センターを建立した沼田恵範師の発想に基づくものです。恵範師は、アメリカ・カリフォルニア州で留学中に、当時は不治とされた病を得て、孤独と絶望に悩まされ、死の瀬戸際まで追い詰められました。その時に恵範師に出会われた親鸞聖人の言葉、「一人居て喜ばゞ、二人と思ふべし、二人居て喜ばゞ、三人と思ふべし、その一人は親鸞なり」（御臨末の御書）が、彼を極限の孤独と絶望から救ったのです。

恵範師はこの経験を親鸞聖人の教えのおかげ、仏教の教えのおかげと自覚できました。さらに、仏教はすべての衆生に敬意を示し、命を大切にする宗教です。この自覚に基づいて、恵範師は仏教を世界中のより多くの人々に理解して貰い、そして人々の安穏と世界の平和の実現を促進するようにと仏教伝道協会を設立したのです。この仏教伝道協会の海外活動拠点として恵光センターがドイツに設立されました。

恵光センターの使命は、大きく分類して四つの部門からなります。恵光寺を中心にした仏教関連部門、恵光センター本部の文化関連部門、共生館の学術関連部門、恵光幼稚園の教育関連部門です。これらの四部門は互いに協力して、日本文化とその根柢を支える仏教精神を具体化して紹介しています。このようにして、恵光センターは、日本文化と仏教精神の伝播について、皆様のご理解の場と経験の機会とを広げたいと願っています。この恵光センターの活動には、皆様のご理解とご支援が不可欠と思っております。

今後ともよろしくご支援くださることをお願いいたします。

ドイツ「恵光」日本文化センター所長 松丸壽雄